



# <センター通信 10月号>

中津川市地域総合医療センター 高橋春光

## インフルエンザ



稲の刈り取りも済み、景色は黄金色から一変しました。日中の暑さももう少しの我慢です。これからの季節、気温が下がり空気が乾燥すると風邪が流行し始めますが、今回は皆様も良くご存知のインフルエンザについてお話したいと思います。

### <インフルエンザとは>

インフルエンザとは、冬に流行するインフルエンザウイルスによる風邪の一種です。しかし他の風邪と違い、症状、感染力が強い病気です。主に咳、くしゃみ、会話などによる飛沫で染つり、1～4 日間の潜伏期間を経て、突然の頭痛、高熱、寒気、筋肉痛、倦怠感、咳、咽頭痛などを来します。症状は 1～7 日続き自然に治癒しますが、一部の方では肺炎などの重症な合併症を来し、死に至ることがあります。

### <治療と予防>

治療は、ほかの風邪と同じように症状に応じた治療と、抗インフルエンザウイルス薬です。予防法としては、内服薬による方法もありますが、最も良い方法はインフルエンザが流行する前に、具体的には 12 月上旬までにワクチンを打つことです。健康な 65 歳以下の大人の場合、70～90%の予防効果があると言われ、かかっても症状が軽くなります。副作用もほとんどありません。

### <インフルエンザワクチンの予防接種が強く勧められる方>

- ・65 歳以上の高齢者。
- ・6 ヶ月から 2 歳未満の子供さん。
- ・6 ヶ月未満の子供と同居している方。
- ・インフルエンザが流行している時期に妊娠している方。
- ・慢性の病気(心臓、肺、腎臓、糖尿病、免疫の病気、喘息など)をお持ちの方。
- ・老人ホームなど施設に入所している方。
- ・患者さんと接する可能性がある医療関係者。



\* 今までにインフルエンザワクチンでアレルギー症状が出た方、6 ヶ月未満の子供さん、熱がある方、調子が悪い方は打つことができません。

何か分からないことや心配なことがあれば、気軽に医師に相談しましょう。

